



GMO リサーチ株式会社

2021 年 12 月期通期決算説明会

2022 年 2 月 7 日

イベント概要

[企業名]	GMO リサーチ株式会社		
[企業 ID]	3695		
[イベント言語]	JPN		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2021 年 12 月期通期決算説明会		
[決算期]	2021 年度 通期		
[日程]	2022 年 2 月 7 日		
[ページ数]	20		
[時間]	17:30 – 17:53 (合計：23 分、登壇：17 分、質疑応答：6 分)		
[開催場所]	インターネット配信		
[会場面積]			
[出席人数]			
[登壇者]	2 名		
	代表取締役社長	細川 慎一	(以下、細川)
	取締役 CFO	森 勇憲	(以下、森)

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

登壇

司会：ただいまより、GMO リサーチ株式会社、2021 年 12 月期決算説明会を始めます。

本日はお忙しい中、ご参加いただきありがとうございます。今回は新型コロナウイルスの感染拡大に備え、決算説明会の開催に際して、皆様の感染リスクを低下させるため、会場での開催ではなく、Web 上でのライブ形式の決算説明会とさせていただきます。

本日の Web 会議には、代表取締役社長、細川慎一、取締役、森勇憲の 2 名が出席しております。

これより代表取締役社長、細川慎一から 2021 年 12 月期決算につきましてご説明させていただきます、その後 Zoom ウェビナーの挙手機能を利用して、皆様からのご質問をお受けさせていただきます。

詳しい方法につきましては、質疑応答のお時間の際、改めてご説明いたします。

それでは、代表取締役社長、細川よりご説明させていただきます。細川社長、お願いします。

目次

1. 結論と要約
2. 決算概要
3. 事業の概況
4. 2022年事業戦略
5. 2022年業績予想

Appendix

GMO RESEARCH

2

細川：はい。GMO リサーチ株式会社代表取締役社長の細川でございます。本日はお忙しい中、決算説明会にご参加いただきまして誠にありがとうございます。これより 2021 年 12 月期決算説明会を開始させていただきます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



まず目次にあります通り、本日の説明はこちらにアジェンダとして載せておりますので、この通り進めたいと思います。

結論と要約 | 通期決算サマリー

- 売上高及びすべての段階利益について過去最高業績を達成
- 売上高は前年比+20%。アウトソーシング/D.I.Y.サービス、国内/海外の全カテゴリにおいて、通期および四半期として過去最高売上を達成。

(単位: 百万円)	2020 (1-12月)	2021 (1-12月)	増減額	増減率	
売上高	3,394	4,086	+691	+20.4%	通期/四半期 過去最高
営業利益	263	352	+88	+33.7%	通期 過去最高
経常利益	241	385	+144	+59.8%	通期 過去最高
最終利益	174	274	+99	+57.4%	通期 過去最高

GMO RESEARCH

4

まず、結論と要約になります。

通期決算サマリーにおきましては、2021年、段階利益はこちらに示した通りでございますが、売上前年対比20%増の40億8,600万円。営業利益は、対前年度比33%増の3億5,200万円。最終利益は、対前年比57%増の2億7,400万円となりました。

対前年での成長トレンドを継続しておりまして、売上高につきましては四半期としても、通期としても、過去最高を達成しておりまして、営業利益以下、段階利益についても過去最高となりました。

またそれに加え、経常利益、最終利益は、為替レートの好転による為替差益1,400万円の発生や、受取利息、配当金900万円の発生がありましたので、こちらも過去最高業績を達成する運びとなっております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



結論と要約 | 営業利益推移

- 調査案件の増加や原価率改善により、粗利は前年比+394百万円 (+25%)
- 販管費は前年比+305百万円、営業利益は前年同期比+88百万円



5

次に、営業利益の対前年推移の増減要因をグラフ化しております。

対前年で調査案件の増加による売上高増加 6 億 9,100 万円に対し、調査の実査工程の稼働率の上昇、生産性の改善などの取り組みを行ってありまして、原価率が改善しております。

結果、粗利が対前年比で 3 億 9,400 万円増加してありまして、増加率は 25%となりました。

販管費につきましては、人件費や広告宣伝費、販促費が主な増加要因ですが、来期以降の成長のための先行投資も意識したコントロールをしてありまして、その結果、営業利益は対前年比で 8,800 万円増となりました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

結論と要約 | 通期業績予想に対する着地

■ 2021年11月8日に公表した修正業績予想に対し、年末まで好調に調査案件が推移したため、売上高および各段階利益ともに上回って着地

(単位: 百万円)	2021 当初業績予想	2021 修正業績予想	2021 通期実績	対修正業績予想 増減額	対修正業績予想 達成率(%)
売上高	3,734	3,980	4,086	+106	103%
営業利益	290	320	352	+32	110%
経常利益	265	350	385	+35	110%
最終利益	190	240	274	+34	114%

GMO RESEARCH

6

次に、業績予想に対する着地です。

2021年11月8日にリリースさせていただいた修正後の業績予想の数値に対し、売上高および段階利益ともに上回って着地しました。これは、12月の年末最後まで想定以上に調査案件が好調に推移をしたためでございます。

結論と要約 | 2021年度株主還元計画

業績に連動した配当（配当性向50%）を目標とする配当の基本方針により、2021年最終利益にもとづき、2021年度の配当予想を1株当たり83.97円に修正させていただいております。

	2020年度	2021年度	対前年比
	実績	(予定)	
1株当たり期末配当金 (円)	53.86	83.97	+30.11円
配当性向 (%)	50.0%	50.0%	±0.0pt
1株当たり当期純利益 (円)	107.73	168.03	+60.30円

GMO RESEARCH

7

次に、2021年株主還元計画になります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



以上の業績を踏まえ、また配当性向 50%の株主還元方針に基づき、2021 年度の株主還元については、一株当たり配当額を昨年より 30 円 11 銭多い、83.97 円とさせていただきます予定になります。

決算概要 | 連結損益計算書

(単位：百万円)	2020年 1-12月	2021年 1-12月	前年比
売上高	3,394	4,086	120.4%
売上原価	1,809	2,106	116.4%
売上総利益	1,585	1,980	124.9%
(売上総利益率)	46.7%	48.5%	+1.8pt
販売費及び一般管理費	1,322	1,627	123.1%
(販管費率)	38.9%	39.8%	+0.9pt
営業利益	263	352	133.7%
(営業利益率)	7.8%	8.6%	+0.8pt
経常利益	241	385	159.8%
当期純利益	174	274	157.4%

GMO RESEARCH

9

次は決算概要になります。

こちらは連結損益計算書になりますが、先ほど結論と要約でご説明させていただいた通りですので割愛いたします。

決算概要 | 連結貸借対照表

(単位：百万円)	2020年 12月末	2021年 12月末	前期末比
流動資産	1,823	2,358	129.3%
現金及び現金同等物	913	1,264	138.5%
固定資産	408	441	108.2%
資産合計	2,231	2,799	125.5%
流動負債	739	1,107	149.8%
固定負債	8	15	172.9%
負債合計	748	1,123	150.0%
純資産	1,483	1,676	113.1%
(純資産比率)	66.5%	59.9%	▲6.6Pt

GMO RESEARCH

10

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



次に、貸借対照表になります。

前期末からバランスシートの構造、ほとんど大きな変化はありません。安全性の高い財務状況を保っております。

事業の概況 | サービス別売上高推移

- アウトソーシング対前4Q+15%(108百万円増)、通期/四半期で過去最高売上
- D.I.Yサービス対前4Q+42%(109百万円増)、通期/四半期で過去最高売上
- D.I.Yサービスの売上高構成比は30.4% (前4Q26.4%) に増加



12

次に、事業の概況に移りたいと思います。

まずは、サービス別売上高の推移になります。

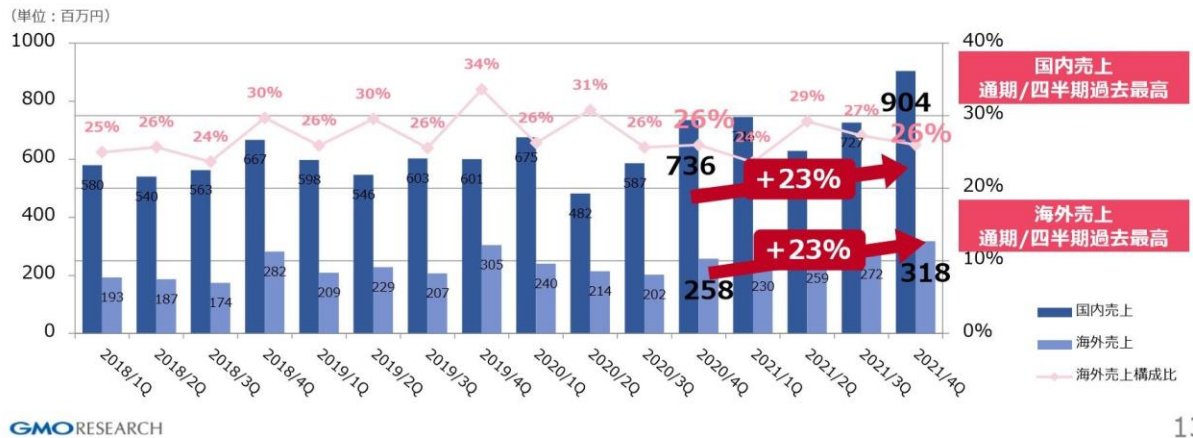
アウトソーシング売上は前 Q 比でプラス 15%、D.I.Y サービス売上は前 Q 比でプラス 42% となっております。両サービスとも通期および四半期売上として過去最高を記録しております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

事業の概況 | 国内・海外売上高推移

- 前4Q比で、国内売上+23%(+168百万円)、海外売上+23%(+59百万円)
- 国内売上・海外売上ともに、通期/四半期で過去最高売上を達成



次に、国内・海外別の売上高の推移です。

国内・海外売上は両セグメントとも前期比でプラス 23%と、こちらも好調に伸ばしております。結果、年間累計および四半期売上ともに各両セグメントとも過去最高を記録しております。

2021年の主なリリース

日付	タイトル	URL
2021/1/12	GMOリサーチとLupeが協業 新規事業開発のための調査に特化したオンラインインタビューサービスを提供開始～課題発見のためのリサーチ設計と対象者リクルーティングをオンラインで支援～	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20210112
2021/4/1	オンラインインタビューサービス「MO Liteインタビュー byGMO」基本料金が無料になるキャンペーンを実施	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20210401489135_P01_.pdf
2021/4/19	2021年04月19日インドで自社運営のアンケートパネルサイト「Z.com Research India」をオープン	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20210419496172_P01_.pdf
2021/7/1	「MO Liteアンケート byGMO」でさらにお得な『パウチャープラン』を提供開始！～本日7/1より、先着20社限定の半額キャンペーン開始～	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20210701
2021/7/7	台湾駐在員事務所設立に関するお知らせ	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20210706462732_P01_.pdf
2021/7/14	ACP16が国目となるUAEパネル提供開始のお知らせ	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20210713466297_P01_.pdf
2021/7/19	『日本ビジネススクール・ケース・コンペティション2021』の参加学生に対し「MO(エムオー) Lite(ライト)アンケート byGMO」を無償で提供～GMOリサーチが応援企業として参加～	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20210719
2021/8/5	オンラインインタビューサービス「MO Insights byGMO」でビジネス領域のインタビューに特化した「MOビジネスインタビューパネル」を無料提供開始	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20210805
2021/8/23	事業計画及び成長可能性に関する説明資料	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20210819488026_P01_.pdf
2021/8/23	新市場区分「グロース市場」選択に関するお知らせ	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20210819488046_P01_.pdf
2021/9/6	Googleフォームの分析が「Market Observer byGMO」で無料利用可能に	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20210818487665_P01_.pdf
2021/11/18	2021年11月18日オンラインインタビューサービス「MO Lite インタビュー byGMO」でさらにお得な定額チケット制『パウチャープラン』を本日より提供開始	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20211117437797_P01_.pdf
2021/11/29	GMOリサーチと東芝データ、購入実績を起点とした調査データの活用に向けた協業を開始	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20211126442390_P01_.pdf
2021/12/20	米国法人設立に関するお知らせ	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20211217454928_P01_.pdf

次に、2021年度の主なリリースに関してですが、こちらは記載の通りでございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



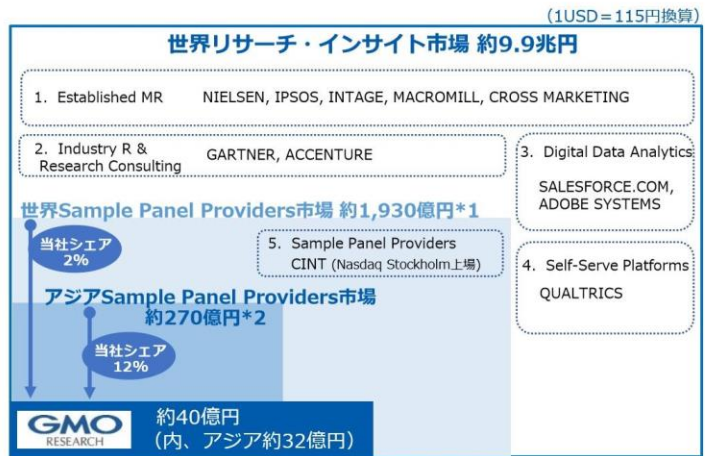
2022年事業戦略 | 世界リサーチ市場

- サンプルパネル提供市場は成長しており、そのアジア市場の成長率は7.3%

(単位: 百万ドル)

市場区分	2019	2020	成長率
1. Established Market Research	35,356	33,553	-5.1%
2. Industry Report & Research Consulting	24,636	24,843	0.8%
3. Digital Data Analytics, Feedback Management, etc	22,548	24,513	8.7%
4. Self-Serve Platforms	1,485	1,929	29.9%
5. Sample Panel Providers	1,530	1,676	9.5%
Total	85,554	86,513	1.1%

	欧米	アジア	その他
2020年市場規模	1,279	233	164
2021年成長予想	1.6%	7.3%	5.9%



出展: ESOMAR, Evolution of the Data, Analytics and Insights Industry, A forecast into 2023

*1: Serviceable Available Market(SAM, 将来も含めたターゲットしている市場)
*2: Serviceable Obtainable Market(SOM, 現状サービスでアプローチ可能な市場)

GMO RESEARCH

16

次に、2022年の事業戦略に移りたいと思います。

まずは、世界のリサーチ市場のご説明をさせていただきます。

リサーチ関連市場という分野に当社は属するのですが、そこは約、大きな意味で10兆円のマーケットが世界にございます。ただ、その中でも当社が属するサンプルパネルプロバイダーというセグメントに当社は属すると思っております、こちらはESOMARのレポートによりますと、1,930億円が世界にございます。

その中でも、われわれアジアの市場は270億円という報告がされておりますので、当社の実際の売上高から、おおよそアジアにおいては12%、当社は市場シェアを持っていると思っております。

このサンプルパネルプロバイダーのマーケットですが、リサーチ業界の中でも9.5%の成長と、非常に高い成長を果たしております、特にアジアにおいては今後も成長を継続して行っていくという期待を持たれた有望な市場でございます。

日本でも多くりサーチ関連の上場企業が属します1のEstablished Market Researchというマーケットですが、これはサンプルパネルプロバイダーのマーケットとは別のマーケットでありまして、アジアにおいては、サンプルパネル提供市場の上場会社は当社のみであります。

サポート

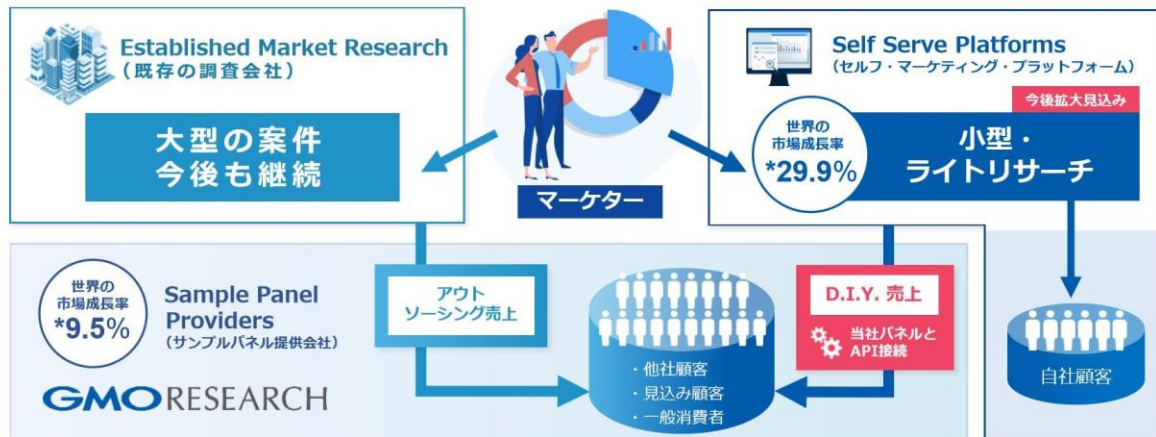
日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



世界で見ると、Nasdaq Stockholm 市場というところに上場しております CINT 社という会社がありますが、こちらは当該セグメントで同じマーケットとなっております。

2022年事業戦略 | サンプルパネル市場で起きていること

- 既存の調査会社のオンラインパネル運用管理は引き続きアウトソーシング
- マーケターは、手元のツールから手軽にパネル（一般消費者）にライトリサーチ
- ライトリサーチ・プラットフォームはサンプルパネル提供会社とAPIで連携推進



GMO RESEARCH

*出展:ESOMAR, Evolution of the Data, Analytics and Insights Industry, A forecast into 2023

17

次に、2022 年度戦略のサンプルパネル市場で何が起きているかという説明になります。先ほど説明したように当該市場が継続して成長していく原因を説明させていただきます。

リサーチを含むマーケティングに関連する方々が市場の正しい把握のために、過去には調査会社様に大型の調査を発注して、正確にマーケットを理解して、その上で戦略を立てていく、商品を作っていく、そんなことをなされておりました。

こちらに関しては、企業にとって非常に重要な将来予測でありますので今後も継続していきますが、その分野でも特にオンラインリサーチをお客様が使われるケースは、当社がアウトソーシング売上として Established Market Research の調査会社様に、当社はオンラインリサーチのインフラをご提供させていただいておりました。

新しく、特にコロナになってさらにスピードが加速した市場が、小型のライトリサーチを提供するセルフ・マーケティング・プラットフォーム市場です。この市場は世界でも急激に成長を遂げてきております。

こちらは先ほどの ESOMAR の調べによりますと、世界の中では約 30%程度の市場成長率で急速に拡大しております。これは今後も拡大していくと見込まれております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

ここではマーケターの方々が、例えば自分たちのお客様に対して簡単にリサーチを小型でスピードを速く行って、それを何度も何度も行うことによって、短期的に施策を変えて、よくアジャイルリサーチともいわれたりするのですが、そういったことをやられていらっしゃるわけです。

もちろん、マーケターの方は自社のお客様だけではなく、競合他社もしくは見込み顧客、一般消費者に対してターゲティングで調査をしたいというニーズもございます。こちらもライトにクイックにやりたいと。そういったときに実現できるようにするには、当社のプラットフォームとAPI接続をさせていただくことによって、そのツールを使って当社に対してD.I.Y 売上という形で売上が付くという構造になっております。

ですので、この勢いのある市場の成長も取り込んでおりますので、このサンプルパネル提供市場は継続して高い成長率を保って今後も成長していくと、そういう構造になっております。

2022年事業戦略 | Audience Engagement Platform



18

次、その中のサンプルパネルプロバイダの中でも、当社は Audience Engagement Platform というプラットフォームでサービス提供させていただいていますが、この中には二つのサービスが入っております。

一つは、お客様側に向けた Market Observer という仕組みでございます。あともう一つが、当社においては仕入れ先になるのですが、ASIA Cloud Panel という仕組みです

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



この ASIA Cloud Panel は、会員を持たれた会社の会員をオンラインリサーチのパネルに変換するというサービスです。ですので、こちらは当社の仕組みで API 接続数が増えれば増えるほど、アジアの中でのリサーチができる会員が増えていくわけです。

①では、その会員数が増やすためには API 接続を増やしていく必要があります。

②では顧客サイドの API、お客様数がこの Market Observer を経由して増えていくこととなります。

お客様が増えていくと何が起こるかという、案件数がどんどん増えていきます。案件数が増えていくと、③の消費者の声、イコール当社においてはアンケートに回答いただく方の声が増えていきます。

アンケートの案件が増えてくると、さらにパネルサイドの会員を持つ企業から、ぜひともアンケートのコンテンツを入れてほしいというリクエストが増えてきますので、またパネルサイドが増えていくという、好循環が生まれるわけです。

このサイクルをうまく回すために、当社は品質管理を AI 含めたシステムで行っておりまして、高いレベルで日本品質のサービスを提供しているということになります。

2022年事業戦略 | ①パネルサイドAPI接続数

- 競争力の源泉であるアジアクラウドパネルは、アジア16の国と地域で4,684万人超となり、API接続媒体数は241へ増加しています。



GMO RESEARCH

19

まず、この重要な KPI の一つ目、①のパネルサイド API 接続数を見ていきます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



まず①のように当社は、2021 年末でアジア 16 カ国の国と地域で 4,684 万人の会員がおりまして、API で接続している媒体数は 241 まで増加してきております。

21 年は、多少アジアの営業活動が今までのようにはやりにくかったもので、多少伸び率が鈍化しているように見えますが、会員数の伸びは着実に伸ばしていておりますので、2022 年も接続数は 20%以上を維持して、また高い成長を続けていけると考えています。

2022年事業戦略 | ②顧客サイドAPI接続数

- アジアクラウドパネルへ接続している顧客数(*1)及びD.I.Yサービス売上高は順調に増加しております。

(*1) アジアクラウドパネルへAPI接続している顧客及び当社Market Observerを利用する顧客



GMO RESEARCH

20

次に、②の顧客サイド API の接続数になります。こちらはお客様の数と先ほど説明させていただいたかと思えます。

当該売上は、過去 7 年間平均で 25%と順調に成長を継続しております。21 年度の売上高は 12 億 2,200 万円となりまして、22 年についても 25%程度の成長は実現できるのではないかと見ております。

同様にこちらでも接続数が重要でして、この接続数も順調に数を伸ばしてきております。

この過去のトレンドの数には外数としてこの中には入っていないのですが、MOLite の顧客数というものがございます。こちらは 2021 年に新しくサービスを始めたライトなりサーチのお客様でございます。

こちらはまだサービスが始まったばかりで、顧客数は多いのですが、売上貢献はほとんどまだできておりませんので、今後ここが安定するともう少しこの数字も良い形で公開ができるようになるの

サポート

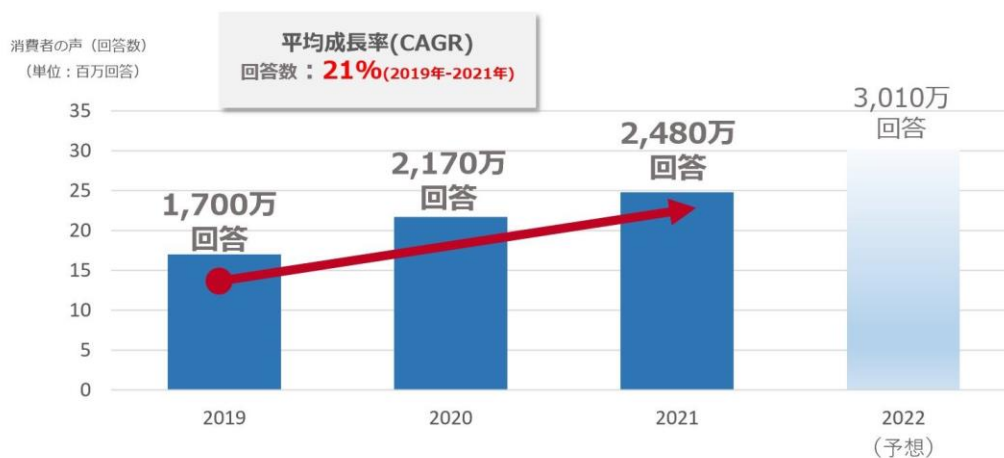
日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



ではないかと思っております。MO-LITE の新しいお客様の数が増えていくと、今後次に考えないといけないのは単価を上げていくということなのですが、ここは期待をしていただいていい数字かと思えます。

2022年事業戦略 | ③消費者の声（回答数）

- 世界の企業へ届けた消費者の声は順調に増加しております。



GMO RESEARCH

21

最後は、③の消費者の声になります。

こういったふうにお客様サイドの接続数が増えていくと、安定したアンケートの回答数が増えていきます。実際に当社においても現在 2021 年においては、2,480 万人の回答、消費者の声として世の中に当社が届けております。この声を届ける数が多くなればなるほど、消費者の声を社会に届けて社会をより良くするという「想いを世界に」という当社のフィロソフィーが実現していくわけでございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



2022年業績予想 | サマリー

- 2021年の成長トレンドが継続し、売上高は約13%成長を想定
- 粗利改善・生産性改善の効果も加味し、営業利益は16%成長を想定

(単位: 百万円)	2021 実績	2022 予想	増減額	増減率
売上高	4,086	4,600	+513	+12.6%
営業利益	352	410	+57	+16.3%
経常利益	385	410	+24	+6.4%
最終利益	274	290	+15	+5.8%

GMO RESEARCH

23

では次に、2022年度業績予想を説明させていただきます。

まずは、サマリーです。売上高は46億円と、前期比13%増となっております。それに粗利改善、生産性改善の取り組みを行いますので、営業利益は4億1,000万円と前期比16%成長を予想しています。

最終利益につきましては、先ほども軽く説明しましたが、一時的な為替差益等の要素は現在フラットに考えておりますので、そういう意味では成長率は昨年よりは低いですが、順調に伸ばしていけ

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



ると思っております。

2022年業績予想 | 2022年度配当予想

2022年度の配当予想につきましては、業績に連動した配当（配当性向50%）を目標とする配当の基本方針により、2022年度最終利益予想にもとづき、1株当たり88.85円と予想しております。

	2020年度	2021年度	2022年度	対前年比
	実績	(予定)	(予想)	
1株当たり年間配当金 (円)	53.86	83.97	88.85	+4.88円
配当性向 (%)	50.0%	50.0%	50.0%	±0.0pt
1株当たり当期純利益 (円)	107.73	168.03	177.71	+9.68円

GMO RESEARCH

24

次に、2022年度、配当予想になります。

こちらは示した通り、50%の株主還元方針を継続し、配当額 88.85 円を想定しております。

このあと Appendix が資料としてはありますが、説明は以上になります。

「想いを、世界に GMO リサーチ」。ありがとうございました。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所については[音声不明瞭]と記載
2. 会話は[Q]は質問、[A]は回答、[M]はそのどちらでもない場合を示す

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com